



□□□□□□

みんなのスペース

皆さんから寄せられたお便りや作品を紹介します。「広報やまだ」の感想などもお寄せください。

堤防が転ぶ④

《前号の続き》

自分のような素人が言うのではなく、その道において豊富な経験、そして豊かな知識の上での信じ難き説明であった。

「山崎よ、もしこの堤防を乗り越越えるような大津波であつても安全であるが、大量の水が激突して何倍もの高さまで飛び上がった水が、高所から大瀑布となり背後の土砂を流失させる！ よって堤防自体の『重心』が不安定になり、堤防が『転ぶ』！」

うそみたいな信じ難き説明であつた。堤防

が倒壊すれば再三襲来する津波による被害が大きくなる、と言う高橋さんであつた。

昭和36年より平成4年までの、平和の工事の時代だつた——。平成23年3月11日。昭和8年の大津波も3月であつた。今度、何とかしてようやく

にして難を越したが罹災における様子は、ほとんど大小対等の罹災だつた。存命はしたものの、茫然たる生活の中にも真つすぐに世の中を見てみせようと頑張る中で、高橋さんの「教訓」を思い出した。大津波が来れば「堤防が転ぶ」である。高橋さんの工事の監督が正しかったので倒壊が一方所も無かつたが、門扉の流失が惜しまれる。

山崎 卓三(大浦・?)

一片の朝顔

「あさ顔に『ツルベ』取られて貫らえ水」と著名な先人の句があります。取られたのは「ツルベ」ではなく、庭先の「サツキ」が、支えになつていました。

ある朝、起きていつものようにカーテンを開け、玄関を開けて表を見れば、きのうまで無かつたのに、濃い紫の花が一輪、目に飛び込んで来てビックリ仰

天。遅咲きの花だろうか、草丈もようやく50センチくらいもあるでしょう。なんとか今秋に間に合うように懸命に生きたのでしよう、そうして一輪の花を咲かせやがて実を結び、来年は同種を増やし、より多くより美しい花をつけて行く事でしょう。そして有望な将来に向つて元氣よく精一杯生き抜くだろうと推測した自分も、元氣をもらつたような気がしました。

振り返つて見れば、最初は何の草か分からず抜いて捨てようかと思つたけれど邪魔にもならないのでそのままにしておいて良かったなアと反省をしながら、きれいな一輪の朝顔の花にいやされ、雲ひとつない朝空に昇る太陽が万人を照らし、和やかな一日を授かる事を信じる朝でした。

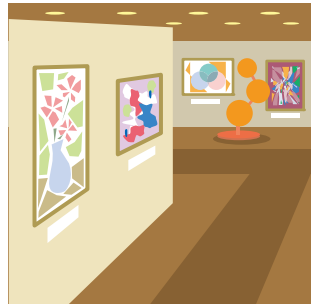
西館 隆(船越・81)

心ほくほくの作品展

晩秋の山々の色彩美を眺めていると、芸術祭の作品を見ているようです。

去る10月25日、織笠小学校でも作品展示会と、ステージ発表会がありました。仮設住宅の前なので楽しみに出掛けた。

「心豊かに、思い切り描こう、作ろう」私の好きなスローガン、



会場はにぎわつていた。作品を賞でながら、ひと回りして感じた事は出来上がった時の「力作」に「やった」と言葉には言い表せない達成感、喜びに生徒の皆さんに拍手をおくります。

演奏会もあの音響や、曲が心和ませてくれるかなあ。機会があつたらまた聞きたいです。校長、諸先生方、生徒たちの日々の学習成果を楽しみました。ありがとうございました。

また、26日は桜山祭。餅まきが行われ大神楽が前庭で舞い、室内ではジュシージャン、友の歌など、それに入所者、デイサービスの利用者の皆さんの作品展もありました。体力が衰えても、気力は十分蓄えていることを作品から実感いたしました。スタッフの皆さま、常日頃ありがとうございます。作品展を楽しみながら、心ほくほくの贅沢な二日間でした。

菊地 サカエ(織笠・79)

町長室から

先日、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンさまの仲立ちで、サントリーHDさまからの資金援助により子どもたちのための建物が建設されることになりました。図書館機能も併設されます。この活動に参加している子どもたちの努力が実を結びました▼一方では、子どもたちに対する虐待事件が後を絶ちません。表面化している事件は氷山の一角ではないという専門家もいます。先日、子どもへの虐待を防止する活動を行っている人たちが、当町で講演会を開きました。子どもは将来の山田町を担う宝物です。みんなですっかり子どもたちを見守りたいものです▼寒さが頬に感じられると思つていたら、いつの間にかカレンダーが最後の一枚になりました。ついこの間、町の新年交賀会が行われたばかりなのにという感じがします。一日一日を、復興に向けて大切に過ごしていかなければ、と思ひます。

山田町長 佐藤 信逸

やまだ文芸広場

- ・かき小屋が 恋しい季節 到来し
 - ・サンゴ泥 神風台風 追いちらし
- 佐藤 兼男 (荒川・87)

- ・逝きしな思い出さる、日は淋し
 - ・生きてる我が疎ましくなる
 - ・悔の無き人生送り終りたし
- 後悔だらけの今迄の私

沢まさ子 (山田・?)

- ・菩提寺の 山門入り 初紅葉

- ・晩秋の 風は足元吹きすぎ
- ・枯葉からから 音たてはしる

内館 洋一 (飯岡・71)

- ・我れ一人 仮設に住める身になりて
- ・しみみ思ふ 母の面かけ
- ・強くても みぢかき地しんに津波なし
- ・長きゆれにわ 津波気をつけ

昆 ユリ (織笠・81)

MERRYXMAS

早いもので、もう12月ですね。

MERRYXMASの時季となりました。

山田の未来の子供さんに夢イッパイ、

希望が、叶うサンタさんが、

来る事を願ってます。

山田の町民のみなさんへ

良いMERRYXMASで、

あるよう願ってます。

佐藤 啓子 (船越・36)

イラストコーナー



アビえもん (船越・14)



キノコ中毒 (織笠・14)



いちご大ふく (船越・9)



紫音 (釜石市・19)

投稿写真



「若い紅葉を撮りました」
関口ヒロシ (長崎・?)



「10月に皆既月食を撮りました」
山の内弁当 (船越・?)

文芸作品やイラスト、写真、メッセージなどを募集

「みんなのスペース」では皆さんの「投書」「文芸 (俳句、短歌、川柳、詩など)」「イラスト」「写真」を募集しています。下記の規定を確認の上、どしどしご投稿ください。

▷投稿規定

- ①住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、ペンネーム・匿名での掲載を希望する方は、その旨を付け加えてください。
- ②営利・政治的活動を目的としたものや特定の個人・団

体をひぼう・中傷するものは掲載しません。

- ③400字を超える当初は添削することがあります。
 - ④写真は、1枚 (プリントデータ) にタイトル、コメント (30字程度) を添えて、郵送、持参またはEメール (info@town.yamada.iwate.jp) で応募ください。
 - ⑤毎月15日を過ぎて届いた作品については、次の月の1日号に掲載できない場合があります。
- ◆宛先・問い合わせ 〒028-1392 (住所不要) 山田町役場総務課情報係 (☎82-3111内線417) へどうぞ。